

(学年) 第3学年、(教科・科目) 商業 情報処理

一斉学習

(単元) 情報の集計と分析

(本時のねらい)

統計、表・グラフの作成など情報の集計と分析に関する知識、技術を基盤として、ビジネスに関する情報の集計と分析に対する要求等に基づいた適切な情報の提供と効果的な活用について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。

- ・基本的な関数について目的に応じた関数を利用できるようになる。
- ・グラフの作成手順について、概ね理解できる。

(ICT活用方法)

授業では、パソコン教室を活用している。表計算ソフトウェアで利用する関数・グラフの作成方法を説明する際、生徒機に先生機の画面を転送する方法をとっている。また、生徒一人ひとりの操作画面をモニター画面で視聴したり、画面上での個別指導ができるため、生徒の進度やつまづき等の把握がスムーズに行える。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を把握させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターで生徒のPCへのログイン状況を確認する。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・実技例題の説明を聞き、関数を用いることで計算が容易になることを理解する。 ・関数を利用し、表を作成する。 ・グラフの種類について説明を聞く。 ・グラフの作成手順を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を読み、求めようとしている事柄を認識させる。 ・SUM, AVERAGE, MAX, MIN 関数の使い方をそれぞれ説明する。 ・進度の速い生徒は、別の問題も解かせる。 ・説明した四つの関数以外にも多くの便利な関数があることを伝える。 ・グラフの名称や特徴を説明し、目的に応じたグラフが利用できるようにさせる。 ・グラフ要素の構成について説明し、各構成要素を組み合わせ、的確に作成するよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒機に先生機の画面を転送しながら説明し、スモールステップで操作をさせることで、理解を促す。 ・生徒機の画面をモニターで確認しながら、説明の進度や内容を工夫する。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめと次時の内容を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時使用した関数の使い方やグラフについて再確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターで生徒のPCのログオフ状況を確認する。

(授業の様子)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

学習内容の理解が困難な生徒に対し、先生機の一斉画面転送による説明は非常に効果的であるが、応用問題になると理解できない生徒もいる。個別指導で対応しているが、対応しきれない場合もあるため、今後転送方法に工夫を重ね、検討をしていきたい。